

平成25年度京都広報賞の概要

■目的

会員（市町村、組合、団体）の広報・広聴行政の発展、向上を図るために、京都府と京都府広報協議会の主催で開催

■知事賞・会長賞

○応募点数 計59点

- ・ 広報紙の部（市の部） 15点 同（町村の部） 6点
- ・ 写真の部（一枚写真の部） 18点 同（組み写真の部） 11点
- ・ 映像の部 9点

○審査方法

各分野の専門家である審査委員による審査で知事賞・会長賞を決定
<審査委員>

- ・ 広報紙の部 つくだ ゆうじろう氏（出版社 編集チーフ）
鳥居 さとし氏（京都府広報センター マーケティングプロデューサー）
- ・ 写真の部 いりまじり さき氏（フリーカメラマン、京都写真家協会会員）
- ・ 映像の部 なみかわ ようすけ氏（映像プロデューサー、(株)天空PR代表取締役）

○講評

1) 広報紙部門

★市の部

【知事賞】京丹後市 広報きょうたんご 12月号



特筆すべきは視点の高い企画の立て方。

同時に、ボリュームのある一冊をストレスなく読ませしてくれる表現工夫に長けている。企画替わりも分かりやすく、「次はどんな情報が載っているのかな」とページをめくる楽しみを抱かせてくる。これはエディトリアルな基礎がしっかりできている証である。

域内のみならず、域外の誘客・誘致にもなる情報提供ができていて素晴らしい。この事例は、これからの地域広報紙のお手本になる取り組みであると思われる。地域の特長・魅力に“光”を当てることで、地域住民が地元を誇りに思うことができたり、その“光”を観て訪れる人が増えたり、この一冊が多目的に使われるシーンが目に見えよう。メディアミックスの時代にマッチしたレベルの高い広報紙と言える。この広報紙自体をツールとして、様々なメディアを利用した広報展開の可能性に期待したい。

【会長賞】長岡京市 広報長岡京 6月1日号

「やさしさ」と「丁寧さ」が伝わるとてもよい冊子だと思われる。

一つ一つの見出しを丁寧に伝える努力がされているのが伝わり、情報BOXの見出しでさえも、読み手が興味を持てるように行政文章からの翻訳をキッチリしている丁寧さがうかがえる。細部にまでこだわりが見えて温かさが伝わる。コピーワークに関してはダントツだった。

その甲斐あって、情報内容に引き込まれていくので、ストレスなく読み通せる。一方で、デザイン面での表現をもう一工夫することで益々良くなると思われるので、そのあたりに課題を設定してスキルアップを期待する。

★町村の部

【知事賞】宇治田原町 広報うじたわら「町民の窓」9月号



見やすく、読みやすい工夫が随所に施され、バランス良く構成された紙面は好感が持てる。特に、分かりやすい言葉で簡潔にまとめられた見出しと、人が見せる一瞬の表情をとらえた写真とが効果的に紙面を飾っている。

「ふくしまっこ」の特集は、3日間のレポートが臨場感にあふれ、主催者へのインタビュー記事は熱い思いが伝わる優れた内容だ。

【会長賞】大山崎町 広報おおやまざき 9月号

全体的に語りかけるような親しみのもてるコピー、センス良く組まれたレイアウトで展開され、ストレスなく読むことができ、分かりやすい。

巻頭の介護予防の特集では、見やすい図表を交えながらその必要性について丁寧に説明がされている。さらに健康アーティストによるコメントとイベントの案内など、町ぐるみで取り組もうとする姿勢が紙面からうかがえる。

2) 写真部門
★1枚写真の部

【知事賞】与謝野町 広報よさの「子ども歌舞伎」6月号表紙 ^{わだなおき}(和田直樹さん)



この表紙を見た人を捉えて離さないような迫力にあふれた写真。

被写体の目線、ポーズはもとより、祭りの華やかな色合いや光回りといった要素がその緊張感と共に写し出されている。一般的には、これほどまで色鮮やかな写真だとタイトルやロゴが入った際に乱雑に感じられたりするところだが、お互いを引き立てるようにきりりと統一されたレイアウトになっている点も素晴らしい。

【会長賞】京田辺市 広報京たなべ5月15日号 1ページ ^{かたおかそのこ}(片岡園子さん)

玉露をつくるための覆下園の中、子どもたちがそれぞれに生き生きとした表情と動きで茶摘み体験をしているところを捉えた写真。被写体が奥行きとリズム感をもって並んでいることに加え、構図内に覆いを入れることによって場所の説明がしっかりとできている。まだらな光はバランスが悪くなりがちだが、ストロボの日中シンクロを適切に使用することによって美しい光回りになっている。

★組み写真の部

【知事賞】宇治田原町 広報うじたわら「町民の窓」9月号2～3ページ ^{かつたにそういち}(勝谷聡一さん)



被写体の自然な笑顔や表情が集まった、たいへんのびのびとした印象のする組み写真で、心にすうっと染みこんでくる。さまざまなシーンがバランス良く組み合わせられており、レイアウトも見やすくすっきりと仕上がっています。撮影者の優しい人柄がにじみ出ているといってもよい。

構図に水平がとれていないものが見受けられるので、その点に気を付ければ、より安定感のある素晴らしいものになったのではないかとと思われる。

【会長賞】京丹後市 広報きょうたんご 5月号 16～17ページ たかくらりょう（高倉 遼 さん）

高校生たちの茶碗作りにおける真摯な態度やこだわりが伝わってくる、静謐感が全面にただよう組み写真。一枚の写真を見開き半分に大きく扱うことによってメリハリもしっかりと作り出されている。

ただ、動きのある写真が組み込まれていないため少し寂しい印象になってしまっているの
で、ろくろのシーンなどに動的なカットを織り交ぜれば、より臨場感のある仕上がりになった
のではないかと。

3) 映像部門

【知事賞】京丹波町 「勝利に向かって一つになれた夏～須知高校野球部～」

長編で撮影日数も多く、撮影素材も多いのに完璧に構成されている点が素晴らしい。映像とインタビューでつなぐところはつなぐ。状況のフォローのみとしてナレーションを使っているところが良い。現場の選手の生の声が臨場感を生み、インタビューが心境を伝えている点もメリハリがあって視聴者を釘付けにする。

高校野球の現場にカメラを入れることは「練習の邪魔になるのでは？」と制作者も遠慮がちになるが、制作者の熱意と真摯な取材対応が選手たちに伝わっているのが良く分かる。

高校野球を題材にしたから今回の素晴らしい作品が生まれたのではなく、制作者と取材者の信頼関係があったからこそ生まれた今回の作品である。

【会長賞】南丹市 「やぎの花火大会 子どもたちの一日」

地元の花火大会を姉妹にスポットを当てて構成したところが素晴らしい。

通常子どもにカメラを向けると緊張感から普段の雰囲気撮影するのが難しいが、二人の日常の雰囲気が撮影されている。当日の撮影チームの気遣い・対応・雰囲気づくりが良かったと思われる。これは一番難しいことである。

また、ご詠歌や祖父のインタビュー、親族の集まる映像が入ることで、「単に楽しい花火大会」ということだけではなく、花火大会があることで受け継がれる「歴史・文化」「つながる地域・家族」が表現されている。BGMと現場音も効果的に使い分けられており、映像を盛り上げている。ナレーション原稿も情感が入りすぎるとうとうしいが、よく精査されており素晴らしい。時間軸を表現するための映像の使い方もよい。主催者や関係者、当日の来場者の感想を入れたいが、企画の意図を最後まで通せている。

■府民賞

京都広報賞の一部門として昨年度から実施。『見て「いいな！」と感じた広報紙』を審査基準として府民による審査（依頼調査とWeb上での投票）により、最も点数が多い広報紙を府民賞に決定。

【府民賞】京都市 2月号

※投票結果

＜第2回府民賞＞投票結果

今後の市町村の広報活動に活かすことを目的とし、京都広報賞の一部門として、昨年度から「府民賞」創設しました。審査基準は『見て「いいな!」と感じた広報紙』で、府内の市町村から18団体がエントリー。WEB調査とHPでの府民からの投票を実施しましたところ、結果は下記のとおりでした。

No	市町村名	投票数			合計	順位	ご意見（代表的なご意見）
		Web調査 1500点満点 (5段階評価) ※1	Web投票（HP）※2				
			得票数	加算（得票 ×5点）			
①	京都市	1,105	34	170	1,275	1	情報が詳しくて良い。図や写真があって読みやすい。読み慣れている。
②	舞鶴市	1,097	5	25	1,122	5	表紙にインパクトがある。写真デザインともみてわかりやすい。写真と文字のバランスも良い。
③	綾部市	1,005	2	10	1,015	15	すっきりわかりやすくまとめられている。余白もあっていいが、レイアウト、デザインに工夫が欲しい。
④	宮津市	994	2	10	1,004	17	見やすいレイアウトでわかりやすい。全体的に堅い印象。
⑤	亀岡市	999	6	30	1,029	11	写真が多くあり、簡潔に表現されていて読みやすい。印象が堅い。
⑥	城陽市	1,007	3	15	1,022	14	カラーで見やすいが、文字が多く小さいのでもう少し大きいほうがいい。
⑦	向日市	1,092	3	15	1,107	6	色づかいが見やすく、レイアウトが工夫されている。もう少し字が大きくても。
⑧	長岡京市	1,116	6	30	1,146	4	まとまっていて読みやすい。色づかいも良い。タイトルが大きくなりやすい。
⑨	八幡市	1,019	1	5	1,024	13	内容はわかりやすい。写真がきれい。縦書き横書きが混在していて読みにくい。
⑩	京田辺市	962	9	45	1,007	16	シンプルでよく読み切れてあきない。縦書き横書きが混在していて読みにくい。
⑪	京丹後市	1,118	12	60	1,178	2	表紙の写真はインパクトがある。レイアウトは読みやすいように工夫されているが、字が小さく、文字が多い。
⑫	南丹市	1,017	2	10	1,027	12	文字が大きく読みやすい。適切に配置されている。色味がなく地味な印象も。
⑬	木津川市	1,021	2	10	1,031	10	見出しや写真があって読みやすい。二色刷にしてはよくまとまっている。
⑭	宇治田原町	992	35	175	1,167	3	写真がきれいで、レイアウトが良い。情報は整理されているが、字が多い。
⑮	精華町	957	1	5	962	18	読みやすくすっきりしたデザイン。ページ数も多く、文字が多い印象。
⑯	京丹波町	1,064	1	5	1,069	9	写真、文字のバランスが良い。明るいイメージ。文字数が多く小さい。
⑰	与謝野町	1,049	7	35	1,084	8	レイアウト、写真と文字量のバランスはいい。写真が良い。少し地味な印象。
⑱	城南衛生管理組合	1,080	2	10	1,090	7	グラフなどもわかりやすくデザインが良い。文字が多く情報をつめすぎな感じ。
		18,694	133	665	19,359		

※1 web調査＝平成25年12月6日～10日に京都府民300名を対象に実施。（業者委託）それぞれの広報紙に対して5段階評価で点数付け。1500満点
 ※2 HPの投票＝平成25年12月2日～平成26年1月9日に府のアンケートシステムで投票募集。18紙の中からベストな1紙を選ぶ方式。有効投票数＝1投票につき5点加算。

